

(別紙1) ふくしまゼロカーボンアワード2025 (事業所版) 受賞事業所

賞	部門	受賞事業所名	受賞理由
最優秀賞	産業	AGC エレクトロニクス 株式会社 (郡山市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 照明のLED化などの省エネ活動だけでなく、再エネを順次導入しており、自社敷地内に設置した太陽光発電設備やオンサイトPPA(太陽光)に加え、新たにオフサイトPPA(太陽光、風力)を導入することで、温室効果ガス排出量を大幅に削減している点が評価された。 ○ また、空調機冷媒の計画的な代替フロンへの置き換えや廃棄物の削減、地域貢献活動など、多様な取組を行っている点が評価された。
	運輸	郡山観光交通 株式会社 (郡山市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内初の燃料電池自動車(FCV)のタクシーの導入、FCVキッチンカーの開発と運用、水素利活用等に関する産官学連携の研究会への参画、国内外の水素関連イベントへの出展、県内の水素関連施設を巡るエコツーリズムの実施、県内小中高校向けの「水素環境授業」の実施など、脱炭素社会実現へ向けて水素関連事業に積極的に取り組んでいる点が評価された。
	民生 業務	浅川町役場 (浅川町)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 省エネ診断を受診し、公共施設の温室効果ガス排出量の見える化を行いながら、電動車の導入やごみ減量化、再エネ導入などの取組を積極的に進めている点が評価された。 ○ また、熱中症対策としてのクールビズ・ウォームビズの実施、クーリングシェルターの設置や高齢者への講話を行い、気候変動への適応策の取組を進めている点が評価された。
優秀賞	産業	佐藤工業 株式会社 (福島市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 軽油の代替燃料として、バイオディーゼル燃料を試験的に採用し、建設機械やトラック等の燃料由来の二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいる点が評価された。 ○ また、環境課題に取り組むプロジェクトとして環境ワーキンググループを発足させ、検討した取組を水平展開しながら、会社全体で環境活動に取り組んでいる点が評価された。
	運輸	株式会社 タムラ (田村市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毎年、エコドライブに関する目標を定め、燃費改善などの温室効果ガス排出量の削減に継続的に取り組んでいる点が評価された。 ○ また、エコドライブの一環として、アイドリングストップ時でも使用できるパーキングクーラー/ヒーターの導入や燃費向上に繋がる車両洗浄機器の導入など、様々な取組を行っている点が評価された。
	民生 業務	陸奥テック コンサルタント 株式会社 (郡山市)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 社内の事業領域ごとに環境配慮に関する目標を定め、温室効果ガス排出量を見える化するとともに、水素自動車の導入や照明のLED化、屋上での太陽光発電などの取組に加えて、設計業務で環境負荷低減工法を提案する等、社外に向けても脱炭素化に向けた取組を行っている点が評価された。
優良賞		株式会社絹川建設工業 (川俣町)	<ul style="list-style-type: none"> ○ もみ殻をバイオ炭(もみ殻くん炭)として有効活用し、野菜の生産に取り組むほか、川俣高校の農業体験学習や地域の子どもの収穫体験の場で活用するなど、農業分野における温室効果ガス排出量削減や持続可能な農業の実現に向けた取組が評価された。